■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010

	高駅ビル	欄に数値またはコメントを記入	■評価ソフト:		CASBEE-N	Cb_2010	0(v.1.5
スコア	アシート 竣工段階						
己慮巧	酒目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共	集用部分 重み		自部分 重み	全体
		AND SOMEORY IN A LANGE HOW A INC.	評価点	係数	評価点	係数	
	≧築物の環境品質 室内環境			0.40			3.4
	音環境		2.6	0.16	DOGOO	-	2.6
	1.1 騒音		3.0	0.40	XXXXXX	-	
	1 室内騒音レベル		3.0	1.00	8555555	-	
			XXXXX	-	00000	-	
	1.2 遮音		3.0	0.40	XXXXX	-	
	1 開口部遮音性能 2 界壁遮音性能		3.0 3.0	0.92 0.06		-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.00	RXXXXX	_	
	4 界床遮音性能(重量衝擊源)		3.0	0.01	KXXXXX	-	
F	1.3 吸音		1.0	0.20	1000000	-	
2 温	昌熱環境		3.1	0.36	XXXXX	-	3.
	2.1 室温制御		3.3	0.50	20000	-	
	1 室温 CX 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		3.0	0.50	KXXXXX	-	
	3 外皮性能	1	3.0	0.18	KXXXXX	-	
	4 ゾーン別制御性	各店舗ごとに系統を分け、各店舗ごとに運転制御が可能。	4.0	0.32	500000	_	
	737 A S S S S S S S S S S S S S S S S S S		kxxxxx	-	$\mathbb{R}^{\mathbb{R}}$	-	
	<u> </u>		[555553]	-	KXXXXX	-	
		1	RXXXXXX	-	KXXXXX	-	
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		kxxxxx	-	KXXXX	-	
-	2.2 湿度制御		3.0	0.20		-	
2 14			3.0	0.30	$\frac{80000}{10000}$	-	3.
٦	3.1 昼光利用		2.9	0.55	KXXXXX	-	٥.
	1 昼光率		1.0	0.03	XXXXX	-	
	2 方位別開口		KXXXXX	-	\mathbb{R}^{0}	-	
	3 昼光利用設備		3.0	0.97	\times	-	
	3.2 グレア対策		1.0	0.02	∞	-	
			XXXXX	-	KXXXXX	-	
	2 昼光制御 大3×1時(3×3分(8×1×1×1×1 ×1		50000	1.00		-	
-	3.3 照度		3.0	0.01	RXXXXX	-	
	3.4 照明制御	エリア毎の照明点滅が可能で、中央監視設備による遠方点滅、部	5.0	0.43	KXXXXX	_	
4 91	空気質環境	分点滅およびプログラム制御が可能である。 			XXXXX		
# <u>F</u>	4.1 発生源対策		3.5 4.0	0.26	₩₩	-	3.
	1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に採用している。	4.0	1.00	XXXXX	-	
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		XXXXXX	-	KXXXXX	-	
	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		KXXXXX	-	888888	-	
-			DOXON	-	PARAGO	-	
	4.2 換気 1 換気量	1	3.0 3.0	0.30 0.49	XXXX	_	
	2 自然換気性能		3.0	0.43	KXXXXX	-	
	3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.49	888888	-	
	<u> (XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</u>		<u> </u>	-	$\infty\infty$	-	
	4.3 運用管理		3.0	0.20	RXXXX	-	
	1 CO ₂ の監視		3.0	0.50	KXXXXX	-	
) +	2 喫煙の制御 サ ービス性能		3.0	0.50 0.30	rxxxx	-	3.
	サーニへ注記 機能性		3.5	0.40	OXXXX	-	3.
	1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	KXXXXX	-	
	1 広さ・収納性		XXXXXX	-	XXXXX	-	
	2 高度情報通信設備対応		KXXXXX	-	XXXXX	-	
	3 バリアフリー計画 1.2 心理性・快適性	1	3.0 3.1	1.00 0.30	LYXXXX	-	
	1.2 心理性・快適性 1 広さ感・景観		1.0	0.30	XXXXX	_	
	2 リフレッシュスペース		3.0	0.25	XXXXXX	-	
	3 内装計画	フロアごとのコンセプトに沿って内装を計画。	5.0	0.42	XXXXX	-	
	1.3 維持管理	1	4.5	0.30	XXXXXX	-	
	1 維持管理に配慮した設計 2 維持管理思機能の変況	ビル管理会社による維持管理を行う。 ビル全体での管理を行う。	5.0	0.50	XXXXX	-	
	2 維持管理用機能の確保		XXXX	0.50	XXXXXX	-	
2 1	<u>□□□ 1 13 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 </u>		3.2	0.31	XXXXX	-	3.
ſĨ	2.1 耐震·免震		3.0	0.48	KXXXXX	-	
	1 耐震性		3.0	0.80	KXXXXX	-	
	2 免震·制振性能		3.0	0.20	XXXXX	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	XXXXX	-	
	1 躯体材料の耐用年数 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	1	3.0 3.0	0.23 0.23	XXXXX	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.23	XXXXXX	_	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	IXXXXXX	-	
		1			KXXXXX	_	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	100 00 00 00 0		

			•			herenenene		
	2.4	4 信頼性		4.3	0.19	100000	-	
		1 空調・換気設備	配管は吊配管としている	4.9	0.20	00000	-	
		2 給排水・衛生設備	受水槽、高架水槽は分離して設置	5.0	0.20		-	
		3 電気設備	非常用発電設備を備えている	5.0	0.20		-	
		4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
		5 通信・情報設備	メタルケーブル、光ケーブルの導入により通信の多様化を図っている。MDF室の地下設置を避け、浸水の危険を回避している。	4.0	0.20	KXXXXX	_	
	1		いる。MDF至の地下設直を避け、浸水の危険を回避している。			$\infty \infty$		
3		性・更新性		3.6	0.29	XXXXX	-	3.6
	3.1	空間のゆとり	to the total of the second of	5.0	0.31	XXXX	-	
		1 階高のゆとり	各階高4.0m以上とする。	5.0	0.55	KXXXXX	-	
		2 空間の形状・自由さ	210m/2560m²=0.08<0.1	5.0	0.45	RXXXXX	-	
	3.2	2 荷重のゆとり		3.0	0.31	XXXXX	-	
	3.3	3 設備の更新性		3.0	0.38	5252525	-	
		1 空調配管の更新性		3.0	0.17	KXXXXX	-	
		2 給排水管の更新性		3.0	0.17	KXXXXX	-	
		3 電気配線の更新性		3.0	0.11	XXXXX	-	
		4 通信配線の更新性	1	3.0	0.11	KXXXXX	-	
		5 設備機器の更新性		3.0	0.22	KXXXXX	-	
		6 バックアップスペース	1	3.0	0.22	XXXXX	_	
03	安州	環境(敷地内)			0.30	-	-	3.5
				_		XXXX		0.10
1	生物均	環境の保全と創出		3.0	0.30	XXXXX	-	3.0
2	まちな	なみ・景観への配慮	地域と共生できるよう導線を計画	4.0	0.40	KXXXX	-	4.0
		性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	KACACA	-	3.5
J		1 地域性への配慮、快適性の向上	周辺環境を考慮した設備機器・後方施設の配置を計画	4.0	0.50	XXXXXXX	-	
		2 敷地内温熱環境の向上	THE CHIEF	3.0	0.50	KXXXXX		
LB		物の環境負荷低減性				VVVV		2.6
				-		-	-	3.6
		ルギー		_	0.40		-	4.1
1	建物位	の熱負荷抑制	△PAL24.3%~△PAL34.0%	4.5	0.30	KXXXXX	-	4.5
2	自然	エネルギー利用		2.9	0.20	KXXXXX	-	2.9
				3.0	0.50	KXXXX	-	
		2 自然エネルギーの変換利用	1	3.0	0.50	KXXXXX	_	
2		システムの高効率化	インバーター内蔵の空調換気機器を積極的に採用	5.0	0.30	0000	_	5.0
3	政場。				0.30	₩		3.0
		集合住宅以外の評価(ERRによる評価)	ERR=37.2%	5.0				
		集合住宅の評価		QQQQQ		00000		
4	効率的	的運用		3.5	0.20	<u> </u>	-	3.5
	4.1	1 モニタリング		3.0	0.50			
	4.2	2 運用管理体制	消費電力目標値を設定し、中央監視にて管理	4.0	0.50		-	
1 00	~ 資酒	·マテリアル		_	0.30		-	3.2
ILKZ						-		
				3.4		OOOO		3.4
	水資源	源保護	白動水や笙筋水機架を用いている	3.4	0.15	XXXX	-	3.4
	水資源	源保護 1 節水	自動水栓等節水機器を用いている。	4.0	0.15	*****	-	3.4
	水資源	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用	自動水栓等節水機器を用いている。	4.0 3.0	0.15 0.40 0.60	****	-	3.4
	水資源	源保護 I 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無	自動水栓等節水機器を用いている。	4.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67		- - -	3.4
1	水資源 1.1 1.2	源保護 I 節水 R 雨水利用・雑排水等の利用 I 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無	自動水栓等節水機器を用いている。	3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33		- - - -	
1	水資源 1.1 1.2	源保護 I 節水 R 雨水利用・雑排水等の利用	自動水栓等節水機器を用いている。	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63			3.4
1	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1	 源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 	自動水栓等節水機器を用いている。	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07			
1	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用	自動水栓等節水機器を用いている。	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24			
1	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3	 源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 	_	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20			
1	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	_	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20		-	
1	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4	 源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 	_	3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20			
1	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05			
2	水資源 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24		-	3.0
2	水資源 1.1 1.2 非再≤ 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避	- - - 設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05		-	
2	水資源 1.1 1.2 非再≤ 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染料	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24			3.0
2	水資源 1.1 1.2 非再至 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染中	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避	- - - 設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.20 0.05 0.24			3.0
2	水資源 1.1 1.2 非再至 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染中	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用	- - - 設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32		-	3.0
2	水資源 1.1 1.2 非再至 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染中	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32			3.0
2	水資源 1.1 1.2 非再至 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染中	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68			3.0
2	非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 万染特 3.1	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 軽排水等利用システム導入の有無 4 軽性資源の使用量削減 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 -			3.6
2 3	水資源 1.1 1.2 非再≤ 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 粧存建築躯体等別域 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 3.外環境	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 -	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.30			3.6
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 第集報 3.1 3.2 数地。	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 輔排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 4.2	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33			3.6 3.4 4.2
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染幹 3.1 3.2 敷地域 地域 地域 地域 北	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 2 推排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷塊 温暖化への配慮 環境への配慮	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.2 3.1	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33			3.6
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 芳染幹 3.1 3.2 敷地球 地域就 也域就 2.1	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33			3.6 3.4 4.2
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 推排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1 環境への配慮 環境への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33			3.6 3.4 4.2
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 1 村料使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1・水理境 1・大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25			3.6 3.4 4.2
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 3 冷媒 3 冷媒 5 表別(断熱材等) 3 冷媒 5 表別(断熱材等) 3 冷媒 5 表別(断熱材等) 3 お球域への配慮 2 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 推排水等利用システム導入の有無 3 推排水等利用システム導入の有無 4 大学薬・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ー ー ー 一 設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2
2 3 LR3	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 温暖化への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 4.2	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 游樂報 地域 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.6 2.7 2.8 2.8 2.8 2.8 2.8 2.8 2.8 2.8	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷塊 温暖化への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	ー ー ー 一 設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 4.0 4.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2 2.3	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 維排水等利用システム導入の有無 生性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1 機体の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮 1 環境への配慮	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.23			3.6 3.4 4.2
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2 2.3	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 1 村料使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1.小環境 1.小環境 1.大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮 1 軽音・振動・悪臭の防止	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 4.0 4.0 3.1 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2 2.3	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 温暖化への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止 2 温級環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2 2.3	源保護 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 1 村料使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 8 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 1.小環境 1.小環境 1.大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮 1 軽音・振動・悪臭の防止	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 1.0 2.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 4.0 4.0 3.1 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汤染幹 3.1 3.2 敷地球 地域域 2.1 2.2 2.3	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 温暖化への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止 2 温級環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 数地域聚 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用・発排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 材料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 有害物質を含まない材料の使用 2 プロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 温暖化への配慮 環境への配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物 1 騒音 2 振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 数地域聚 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雨水利用・雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 軽排水等利用システム導入の有無 1 村料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 3 2 発泡剤(断熱材等) 3 3 2 接入剤(断熱材等) 3 3 2 接入剤(断熱材等) 3 3 3 3 3 3 3 3 3	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 - 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 数地域聚 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 性資源の使用量削減 1 村料使用量の削減 2 既存建築躯体等の継続使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 6 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 2 発泡剤(断熱材等) 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷塊 2 表別規憲化の改慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の改善 3 大気汚染防止 2 活動・振動・変換の配慮 1 原業物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 原業物処理負荷抑制 3 京美物処理負荷抑制 3 京通負荷抑制 3 京通財制 3 京通負荷抑制 3 京通角が原理 3 京通角が原理 3 京通角が原理 3 京通角が原理 3 京通角が原理 3 京和利 3 京和 3 京和	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69%	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 数地域聚 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 離排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 2 凝壊境悪化への配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪いの配慮 1 順素物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 1 騒音 2 振動 3 悪臭の防止 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 2 砂塵の抑制 2 砂塵の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制 3 映塵の抑制 3 悪臭 2 風害・砂塵、日照阻害の抑制 2 砂塵の抑制 3 砂塵の抑制 3 映塵の抑制 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭の防止 1 風害の抑制 3 砂塵の抑制 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	設備・電気部材は原則躯体仕上げ材への埋め込み及び直接固定はせず、容易な分離作業を可能とした 有害物質を含まない材料の採用 ガス消火を計画していない ライフサイクルCO2排出率69% 交通量調査による必要台数を設置 ごみの分別、計量を行っている	4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷 地域 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 5.0 5.0 3.6 5.0 3.0 - 3.0 3.0 - 4.2 3.1 3.0 3.0 3.0 4.0 4.0 4.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷 地域 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 2 雨水利用・雑排水等の利用 1 雨水利用システム導入の有無 2 離排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 2 雑排水等利用システム導入の有無 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 4 非構造材料におけるリサイクル材の使用 5 持続可能な森林から産出された木材 3 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 2 凝壊境悪化への配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪化の配慮 1 大気汚染防止 2 温熱環境悪いの配慮 1 順素物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 1 騒音 2 振動 3 悪臭の防止 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 2 砂塵の抑制 2 砂塵の抑制 2 砂塵の抑制 1 風害の抑制 3 映塵の抑制 3 悪臭 2 風害・砂塵、日照阻害の抑制 2 砂塵の抑制 3 砂塵の抑制 3 映塵の抑制 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭 3 悪臭の防止 1 風害の抑制 3 砂塵の抑制 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷 地域 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 1		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1
3 LR3 1 2	水資 1.1 1.2 非再生 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷 地域 2.1 2.2 2.3 3.1	## 1 節水 1		4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.15 0.40 0.60 0.67 0.33 0.63 0.07 0.24 0.20 0.05 0.24 0.22 0.32 0.68 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			3.6 3.4 4.2 3.1